

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	駿台外語アンドビジネス専門学校
設置者名	学校法人 駿河台学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
外国語 専門課程	エアライン学科 (2年制)	夜・通信	752 単位時間	80×2= 160 単位時間	
	英語学科 (2年制)	夜・通信	288 単位時間	80×2= 160 単位時間	
	英語留学学科 (3年制)	夜・通信	416 単位時間	80×3= 240 単位時間	
	韓国語学科 (2年制)	夜・通信	480 単位時間	80×2= 160 単位時間	
	二言語キャリア 学科 (2年制)	夜・通信	352 単位時間	80×2= 160 単位時間	
	中国語学科 (2年制)	夜・通信	416 単位時間	80×2= 160 単位時間	
	語学専科 (1年制)	夜・通信	352 単位時間	80×1= 80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sundaigaigo.ac.jp/pdf/course-subjects.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	駿台外語アンドビジネス専門学校
設置者名	学校法人 駿河台学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。

（掲載：http: <https://www.sundai-slec.ac.jp/pdf/bmember.pdf>）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2023.4.1～ 2025.3.31	組織運営体制への チェック体制
非常勤	税理士	2023.4.1～ 2025.3.31	組織運営体制への チェック体制
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	駿台外語アンドビジネス専門学校
設置者名	学校法人 駿河台学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年、各学科専任教員による授業科目の検証が行われ、決定した授業について、各授業の担当教員により、授業計画書(シラバス)が作成される。授業計画書(シラバス)は、統一様式であり、授業概要、単位数、目標、使用教材、授業計画(各授業週ごとのテーマ・内容)、成績評価の方法と基準などを記載している。</p> <p>学生は、開講後、各授業のグーグルクラスルームにて、WEB上で閲覧可能。一般閲覧希望者は、開講後、冊子にして、本校教務課にて公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校学生には各授業のグーグルクラスルームで公開。一般には、開講後、冊子にして本校教務課窓口で閲覧公開している。また本校HPに授業計画書の記載内容や来校による閲覧について公開している。</p> <p>https://www.sundaigaigo.ac.jp/pdf/lesson-plan.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の単位認定については、学生ハンドブックに記載。 単位の認定：単位取得のためには、科目ごとに出席率 80%以上であることが必要、かつ前・後期それぞれの成績評価に基づいて、C 評定 (60 点) 以上の科目を認定する。成績評価基準は、シラバス内で「試験」「課題提出」「授業態度」などに分けて基準を示している。 なお補講や検定試験による単位認定の場合は、P 評定として、単位を認定する。</p>													
<p>3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>													
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>評価は、定期試験に平常点を加えた評価点 (100 点方式) をもって評価し、成績評定は、AA・A・B・C・F で表し、AA・A・B・C が合格となる。</p> <table border="0"> <tr> <td>【定期試験】</td> <td>【再試験】 (定期試験で不合格)</td> </tr> <tr> <td>90 点以上 AA 評定</td> <td>70 点以上 C 評定</td> </tr> <tr> <td>80～89 点 A 評定</td> <td>70 点未満 F 評定 (不合格)</td> </tr> <tr> <td>70～79 点 B 評定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～69 点 C 評定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60 点未満 F 評定 (不合格)</td> <td></td> </tr> </table> <p>成績評価については、学生ハンドブックに記載 (学生用 HP)</p> <p>同時にこれらを GPA として数値化する場合 各成績は AA 評定 (4 点)、A 評定 (3 点)、B 評定 (2 点)、C 評定 (1 点) として換算し、各学生が履修した科目の合計値を履修した総科目数で除した平均値とする。</p>		【定期試験】	【再試験】 (定期試験で不合格)	90 点以上 AA 評定	70 点以上 C 評定	80～89 点 A 評定	70 点未満 F 評定 (不合格)	70～79 点 B 評定		60～69 点 C 評定		60 点未満 F 評定 (不合格)	
【定期試験】	【再試験】 (定期試験で不合格)												
90 点以上 AA 評定	70 点以上 C 評定												
80～89 点 A 評定	70 点未満 F 評定 (不合格)												
70～79 点 B 評定													
60～69 点 C 評定													
60 点未満 F 評定 (不合格)													
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本校学生には学生ハンドブック (学生用 HP) で公開。一般には、本校 HP に成績評価について公開している。 https://www.sundaigaigo.ac.jp/pdf/grading.pdf</p>												
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>													

	<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、語学力を活かしたコミュニケーションスキルで世界的に活躍できる人材を育成することを目指している。</p> <p>卒業要件については、学生ハンドブックに記載（学生用 HP）。</p> <p>条件は、学費完納ならびに各学科の学年ごとの必修単位数以上を取得し、かつ在籍期間に取得した単位の合計が、卒業必修単位数以上でなければならない。</p>
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本校学生には学生ハンドブック（学生用 HP）で公開。 一般には、本校 HP に卒業の認定について公開している。</p> <p>https://www.sundaigaigo.ac.jp/pdf/graduation-certification.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	駿台外語アンドビジネス専門学校
設置者名	学校法人 駿河台学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公開している。 (掲載 : http: https://www.sundai-slec.ac.jp/pdf/freport.pdf)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	エアライン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	1936 単位時間 /単位	単位時間 /単位	128 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2336 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	0人	4人	20人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 英語、韓国語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 航空会社、空港サービス関連会社、ホテル			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導 (履歴書添削・面接)			

(主な学修成果(資格・検定等)) 英検、TOEIC、MOS 検定、マナー・プロトコール検定、サービス接遇実務検定、
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	英語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間／単位	2176 単位時間 /単位	単位時間 /単位	32 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2208 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		20人	0人	5人	23人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）英語授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に 応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的に面談を行い、 特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	4人 (26.7%)	10人 (66.7%)	1人 (6.7%)
（主な就職、業界等）空港サービス関連会社、警備会社、ホテル、教育関連会社			
（就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、 業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））英検、TOEIC、MOS 検定、マナー・プロトコール検定、 サービス接遇実務検定、			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	4 人	14.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業意識低下、		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	英語留学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2480 単位時間/単位	3088 単位時間 /単位	単位時間 /単位	32 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3120 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	3人	0人	2人	8人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要)英語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。留学指導については留学担当およびネイティブ講師が連携してサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等))			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	1人	100%
(中途退学の主な理由) 学業意識低下、		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	韓国語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	2112 単位時間 /単位	単位時間 /単位	32 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2144 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		90人	0人	6人	37人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等 （概要）韓国語の授業は、二言語キャリア学科と合同でレベル別クラス編成を行い、 学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的 に面談を行い、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
76人 (100%)	21人 (27.6%)	30人 (39.5%)	25人 (32.9%)
（主な就職、業界等）韓国の芸能プロダクション、空港サービス関連会社、警備会社、 ホテル、ブランド製品の日本における輸入及び販売会社、菓子等の輸出入、製造、販売 会社、教育関連事業会社、システム運用サービス事業会社			
就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業 界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））TOPIK、MOS 検定、マナー・プロトコール検定、サー ビス接遇実務検定、			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
139 人	18 人	12.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良(メンタル)、学業意識低下、経済的な理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	二言語キャリア学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	2176 単位時間 /単位	単位時間 /単位	32 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2208 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		30人	0人	6人	37人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）英語・韓国語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的に面談を行い、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	3人 (18.8%)	9人 (56.2%)	4人 (25%)
（主な就職、業界等）空港サービス関連会社、警備会社、ホテル、求人広告代理店事業会社、リサイクル販売事業会社、システム運用サービス事業会社			
（就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））TOPIK、英検、TOEIC、MOS 検定、マナー・プロトコール検定、サービス接遇実務検定、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31 人	2 人	6.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	中国語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	2112 単位時間 /単位	単位時間 /単位	32 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2144 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	13人	0人	2人	12人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。進路指導については面談を通し希望に沿ったサポートを行っているが、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	4人 (%)	8人 (%)	1人 (%)
（主な就職、業界等）ホテル、空港サービス関連会社、警備会社、運輸会社、鉄道サービス関連会社			
就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））HSK、MOS 検定、マナー・プロトコール検定、サービス接遇実務検定、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	2 人	10.5%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	語学専科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	832 単位時間／単位	1104 単位時間 /単位	単位時間 /単位	16 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1120 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		4人	1人	8人	25人	33人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）英語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的に面談を行い、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度、		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
エアライン学科	120,000 円	1,188,000 円	151,000 円	その他は施設費、教育行事費
英語学科	120,000 円	900,000 円	151,000 円	同上
英語留学学科	120,000 円	900,000 円	151,000 円	同上
韓国語学科	120,000 円	900,000 円	151,000 円	同上
二言語キャリア学科	120,000 円	900,000 円	151,000 円	同上
中国語学科	120,000 円	900,000 円	151,000 円	同上
語学専科	120,000 円	900,000 円	161,000 円	同上
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP に公開している。 https://www.sundaigaigo.ac.jp/pdf/school-info.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連企業、教育関連関係者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 この評価を活用し、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
私立高等学校 副校長	2024. 6. 1～2025. 5. 31	学校
旅行会社 社員	2024. 6. 1～2025. 5. 31	企業
日本語学校 副校長	2024. 6. 1～2025. 5. 31	日本語教育機関
日本語学校 副校長	2024. 6. 1～2025. 5. 31	日本語教育機関
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP に公開している。 https://www.sundaigaigo.ac.jp/pdf/evaluation-report.pdf		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

本校 HP に公開している。

<https://www.sundaigaigo.ac.jp/school-info.html>